

SDGsの達成年度である2030年の折り返しを過ぎ、それぞれのお立場から「①現在の取組状況や今後の予定している取組等」や、「②SDGsの取組拡大(効果的な実践方法、連携促進等)に必要なこと」などについて、ご発言いただく。

①現在の取組状況や今後の取組予定

- 新たな取組や独自性のある取組、日頃から意識していることのほか、今後、予定している取組など

②SDGsの取組拡大(実践方法、連携促進等)に向けて

- 7年度の市民意識調査結果のとおり、市民のSDGs認知度は8割を超えており、関心のある方も5割を超えている。これまでの「認知・理解」から「実践・行動」に繋げていくために、必要と考えられること。
- SDGsを経営に取り入れた、中小企業の取組の拡大に向けて、必要と考えられること。
- 今後、社会の中心を担っていく、小・中学生やユース世代に向けた取組として、必要と考えられること。
- SDGsウィーク等の実施を通じて、関係者の連携の場が創出、拡大してきている。今後、より多くの多様な方の参画を広げていくために、必要と考えられること。
- 今年度から本市は、SDGs推進認定事業補助金を拡充し、地域が主体又は複数事業者等の連携によるSDGsを原動力とした「持続可能な地域づくり」モデル事業に対しても補助を行うこととした。団体での活用や実践できると考えられること。